

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 横田 誠二

- I 開催年月日 平成 30 年 11 月 21 日（水）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 46 分
III 出席委員等 [出席委員] ◎横田 誠二 ○坂林 永喜 高瀬 充子
角田 悠紀 中村 清志 上田 武
金森 一郎 高畠 義一
(◎…委員長 ○…副委員長)
[議長] ※狩野 安郎議長は委員として出席
[副議長] 福井 直樹副議長
[説明員] 別紙名簿のとおり（遠山病院長は公務のため欠席）
[委員外議員] 瀬川 侑希 林 貴文
[事務局職員] 安東 浩志 松本 武司 柚原 規泰
関本 尚彦
[傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔市民生活部〕

。高岡市内における交通事故発生状況について

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【交通事故発生状況について】

- 死亡者 5 人の年齢について「65 歳以上の高齢者であった。」「75 歳以上の後期高齢者がすべてを占めている。」という 2 つの表現を用いて説明されたが、使い分けの理由は。
- △ 死亡者の年齢について「65 歳以上の高齢者」という区分で人数を算出したところ、5 人であったが、さらに全員が「75 歳以上の後期高齢者」という特徴が見られたこと

を報告させていただいた。

【運転免許証の自主返納について】

- 運転免許証の返納実績及び傾向は。
- △ 返納制度は、平成 21 年 9 月から開始しており、市内では 30 年 10 月末現在で 3,506 人の返納実績がある。21 年度の開始当初における返納実績は、100 人台だったが、28 年度、29 年度は 500 人台と増えてきており、30 年度は 10 月末現在で 367 人となっていることから、今年度も増加傾向が続くものと考えている。
- 行動範囲が狭まるため、免許の返納に踏み切れないという声も多い。免許返納後も高齢者が行きたい所へ行ける環境づくりが大事であり、公共交通機関を担当する総合交通課とも協力して取り組みを進めていただきたい。（要望）
- 運転免許を返納された人からは、買い物や病院へ行くのに都合が悪いという声を聞く。他部署とも連携を図りながら、返納しやすい条件を整えてほしい。（要望）

【交通事故の要因について】

- 交通事故の要因は。
- △ 加害者側の要因としては、わきみ運転等による前方不注意、安全不確認、また、一時不停止や対向車、歩行者等への注意を怠る動静不注視、不適切なハンドル操作等がある。一方、被害者となる歩行者側の要因としては、走行車両直前直後の横断や、左側通行、横断歩道外での横断など、歩行者のマナー違反等がある。なお、高齢者においては、自身の体力を過信して無理に横断した結果、事故につながる場合もある。

【認知機能検査について】

- 75 歳以上の高齢者ドライバーが免許更新の際などに義務づけられる認知機能検査が半年待ちという話を聞いた。受検機会の拡大に向けた対策が必要と考えるが見解は。
- △ 認知機能検査については、受検機会の拡大について本市からも県に伝えたい。

【道路標識の設置や白線引きについて】

- 新たな宅地造成時には、標識の設置や道路の白線引きが行われるが、接続する既存道路には、道路標識の設置が行われず、大変危険な状況を目にすることもある。優先順位が高い危険箇所における標識の設置や白線引きなどの対応が必要と考えるが、見解は。
- △ 自治会から高岡警察署に要望いただくこととなる。本市としても可能な限り協力したい。交通規則に関わる「一時停止標識」等の設置については、富山県公安委員会がその必要性を検討したうえで設置することになっている。これまでも、各地域からの設置要望があれば、市と警察で現地確認し、警察を通じて、富山県公安委員会に要請している。

【信号機の設置について】

- 交通安全対策として、平成 30 年度に新たに設置した信号機の数。

- △ 30 年度の設置予定はないと警察から聞いている。
- 地元からの要望はあるのか。
- △ 連合自治会等を通じた信号機の設置要望がある。
- 設置の見通しは。
- △ 設置は、警察の所管であり、富山県公安委員会がその必要性を検討したうえで設置することになっている。

【交通安全教室の内容について】

- 交通安全教室の中で、安全装置がついた乗用車の購入やドライブレコーダーの導入を推奨しては。(要望)
- △ 現在も安全装置付きの乗用車を用いた講習を行っている。交通事故を抑制できる設備の導入については、積極的に推奨したい。

2 その他

〈 委員から、次の質疑等があった。 〉

【放課後児童育成クラブの予定調査について】

- 放課後児童育成クラブを利用する児童数を事前に把握するための需要調査を行ったとのことであるが、調査対象者数、回収率及び調査結果は。
- △ 平成 30 年 8 月、9 月に市内の保育園、認定こども園、幼稚園に入所している 4、5 歳児の保護者を対象に調査を行い、85%に当たる 2,044 名から回答を得た。結果として、8 小学校区において大きな需要増加が見込まれることが分かった。
- 8 小学校区で需要増加が見込まれるとのことであるが、今後の対策は。
- △ 予算の裏付けが無いので、具体的な整備計画はないが、3 年生までの希望者は受け入れできるよう受け皿を整備したいと考えており、整備予算の確保に努めたい。
- 「3 年生までの希望者は受け入れできるよう受け皿を整備する。」という考えは、8 小学校区すべてに当てはまるのか。
- △ その通りである。
- 希望する児童が入所できるように体制を整えていただきたい。(要望)

【幼児教育・保育無償化について】

- 平成 30 年 9 月議会において「幼児教育・保育無償化により保育需要の増加が見込まれる中、本市における影響と対策は。」との質問に対し「新たな需要が見込まれないため、保育施設の不足は生じない。」との答弁があったが、その根拠は。また、保育施設は不足しないとの見解であったが、保育士は足りているのか。
- △ 「新たな需要が見込まれない。」というのは、無償化対象の大部分となる 3 歳児から 5 歳児が既に保育所等を利用しているためであり、具体的に積み上げた数値ではない。また、保育士については、0 歳児から 2 歳児の預かり需要は高まっており不足してい

る状況にある。

○ 無償化の財源はどのように確保するのか。

△ 財源割合は、国が2分の1、県、市がそれぞれ4分の1となること、また、一時預かり、ファミリーサポートセンター、病児保育、預かり保育といった保育サービスや認可外施設の利用については、国、県、市それぞれが3分の1など大まかなスキームは新聞等で報じられているところである。しかしながら、具体的な制度設計は正式決定されておらず、財源については未定であるため、国から情報が入り次第、適切に対応したい。

【ねんりんピック富山 2018 の総括について】

○ 新高岡駅観光交流センターの営業時間は通常午前9時からであるが、おもてなしの観点から、早く営業する必要があったと考える。また、宿泊施設へ行っても夕食が出なかったというトラブルも耳にしており、良い印象を持たれなかった方もおられると思う。ねんりんピック富山 2018 の総括は。

△ 今大会は天気に恵まれ、爽やかな開会式に始まった。本市では、ソフトテニス、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、川柳の4つの交流大会を開催し、約2,000人の選手、監督、関係者が集まった。市職員やボランティアを含め、約1,000人のスタッフがおもてなしを行い、参加者2名に対し1名という体制を執った。また、おもてなし料理については地域女性ネット高岡、観光ブースについては高岡市観光協会、健康づくりについては、高岡市薬剤師会や高岡市ヘルスボランティア協議会などに協力いただいた。さらに、北陸コカ・コーラボトリング株式会社によるドリンクの提供等もあり、本市の総力を結集し、おもてなしを行った。ちなみに、本市内の宿泊人数は延べ約3,000人であった。

【特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率について】

○ 本市における特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率、県内順位は。また、結果に対する見解は。

△ 本市では、40歳から74歳までの国民健康保険加入者に対して、特定保健指導を実施しており、その結果を基にメタボリックシンドロームに着目した保健指導を行うことで、生活習慣病の予防や重症化予防を図っている。特定健康診査の受診率については、平成25年度が49.7%、29年度は51.6%となっており、受診率は僅かであるが増加傾向にある。25年度から29年度における5年間の県内市町村平均と比較すると高い状況にあり、県内順位は29年度で15市町村中7位となっている。また、特定保健指導の実施率については、25年度は18.8%、29年度は21.5%となっており、概ね20%前後で推移している状況にある。5年間の県内市町村平均と比較すると低い状況にあり、県内順位は29年度で15市町村中10位となっている。

特定健康診査については、受診勧奨ハガキの送付や商工会会報への啓発チラシの折り込み等を通じて周知PRを行ってきており、30年度は、これらに加え、追加受診期間を設けるなど取り組みを強化したところである。また、特定保健指導については、特定健診結果説明会を開催し、同日に特定保健指導を実施したほか、案内チラシ等に

よる周知PRを行ってきたところである。30年度は、これらに加え、人間ドックの受診者に特定保健指導を実施したほか、保険年金課でも特定保健指導の窓口を設けるなど、取り組みを強化している。特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率の向上に向け、引き続き努力したい。

○ 特定保健指導の実施率が県内市町村中10位と低い。せっかく、「健康たかおか輝きプラン（第2次）」において、市民の健康寿命を延ばす「健康たかおか10か条」を定めたので、市民に対するPRを強化しては。

△ 特定保健指導の実施率が低迷している要因として、健診結果で特定保健指導の該当になっても、要受診、要精密検査といった結果と違い、軽く受け取られる傾向がある。また、自覚症状が乏しい生活習慣病に対する危機感の低さもあると考える。重症化する前に生活習慣の改善を促す特定保健指導の重要性については、今後さらに分かりやすく、より身近に受け取ってもらえるようにPR方法を検討したい。また、他市町村の取り組みについても調査、研究し実施率向上のための方策を検討したい。

【平成30年豪雪の教訓を踏まえた消防、救急体制について】

○ 平成30年豪雪の教訓を踏まえた消防、救急体制の具体的な検討状況は。

△ 平成30年豪雪時において、火災が無かったのは幸いであったが、救急に関しては、出動から帰署までに時間を要する事案が多くあった。これらを踏まえ、県が主催する道路除雪関係機関会議において、早期の除雪車の出動について要望し、県が除雪対策を強化するとの新聞報道もあった。また、市の対策本部を通じ、消防団分団器具置場前の除雪について、エリアを担当する業者への早期の対応をお願いしたところである。

○ 今冬の教訓を踏まえて、早期出動等の対策をお願いしたい。（要望）

〈 当局から次のとおり報告・説明があった。 〉

〔市民生活部〕

。男女平等EXPO高岡2018の開催について

〈 委員から、質疑はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（24名）

市民生活部長	森 田 充 晴	市民病院長	遠 山 一 喜
市民生活部次長 地域安全課長・環境政策室長	笹 島 永 吉	市民病院事務局長	崎 安 宏
共創まちづくり課長	室 谷 智	総務課長	赤 阪 典 子
共創まちづくり課 多文化共生室長	寺 口 昌 代	医事課長	長 田 由 美 子
男女平等・共同参画課長	長 澤 雅 春		
市民課長	山 本 美 由 紀	消防長	寺 口 克 己
環境サービス課長	柴 野 泰 彦	消防本部次長	酒 井 克 志
		総務課長	浦 島 章 浩
福祉保健部長	吉 澤 実	予防課長	山 口 喜 代 治
福祉保健部次長 参事	西 本 幸 夫	警防課長	吉 田 就 彦
社会福祉課長	山 本 真 弘	通信指令課長	有 澤 智 文
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	村 上 彰		
高齢介護課長	大 江 菜 穂 子		
保険年金課長	徳 市 直 之		
健康増進課長	上 見 弘 昭		